

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名		
08406	スポーツ大会企画支援事業	教育委員会	体育振興係	林 一昭	矢島 岡衛		
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 30 日	連絡先(内線)	2505		
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)		
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1085	保健体育総務事務			
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A					
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造		
		節	(コード選択)	1節	地方分権化に積極的に対応する		
		項[基本施策]	(コード選択)	514	生涯スポーツの振興		
主な取り組み		(コード選択)	5144	スポーツ団体と大会の支援			
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他			
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	J	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

スポーツ大会参加者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

大会への参加者を募り、スポーツへの意識や生涯スポーツの関心を高める。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	町主催の各種大会の開催(南信柔道大会・町陸上大会・ふれあいウォーク・町内一周駅伝大会)
2	
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	大会開催数	回	4	4	4	4
	説明	町主催の大会(南信柔道大会・町陸上競技大会・ふれあいウォーク・町内一周駅伝)開催回数					
		目標値設定の根拠	19年度実績と同回数を見込む。				
②	指標名						
	説明	目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	大会参加者数	人	1,537	1,694	1,700	1,700
	説明	町主催の大会(南信柔道大会・町陸上競技大会・ふれあいウォーク・町内一周駅伝)参加者数					
		目標値設定の根拠	平成20年度実績を下回らない参加者を見込む。				
②	指標名						
	説明	目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	7,261	7,221	6,932	6,932
対前年比		%		99.4	96	100
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)						
B) 一般財源(税金)						
		(千円)	7,261	7,221	6,932	6,932
①事業費		(千円)				
対前年比		%		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
②人件費の概算		(千円)	7,261	7,221	6,932	6,932
対前年比		%		99.4	96	100
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費
	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H19 H20 H21 H22	年間人件費
町職員(正規職員)	0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02	7,261 7,221 6,932 6,932
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0 0 0 0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	C	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → 参加者数の減少 D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → スポーツ活動推進事業 C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → 町主催から協会等主催に変えていくことにより人件費の削減が図られる。 D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → 大会実施後反省会等による。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

各大会とも参加者が減少傾向であるため、共催団体等に現状を投げかけ、見直し等を提起した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

各大会とも回数を重ね歴史があるが、南信乗道大会・町陸上競技大会については町主催から協会等主催へと実施主体の変更を考へる時期にきている。また、ふれあいウォークについては主事業がウォーキングであるため町が主体となってイベントを行う必要性があるのか再考の余地があると思われる。町内一周駅伝については選手集め等地区によっては苦慮している課題もあるが、昨年検討会を設け、継続が決定している。現在当日の監察員等は安協・体協・体育指導員が主になって運営しているが今後、各地区の公民館にも当日の協力を呼びかけていく必要性を感じる。

21年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

前年踏襲でなく、新たな企画を考えながら、運営の見直しを行っていく。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



b 上記 a~e を選択